

## 文化・芸術



「原爆の図 第一部 幽霊(再制作版)」

1950、51年(後年に加筆)墨・紙  
180・0<sup>cm</sup>×721・0<sup>cm</sup>  
(広島市現代美術館蔵(部分))

### 丸木位里・俊

1948年夏、丸木位里・俊夫妻は「原爆の図」を描くことを決意し、50年に「原爆の図第一部 幽霊」を完成させました。同年8月には「第二部 火」「第三部 水」も加わり、初期三作として発表します。50年末ごろ、夫妻は米国での「原爆の図」展の打診を受け三作作を模写するかたちで再制作します。結局依頼は断ります。しかし50年から53年までの約4年間、全国170カ所の会場で過密な日程で開催された「原爆の図展」の盛り上がりの中、この再制作版「原爆の

大川美術館特集展示「広島市現代美術館コレクションを中心に 丸木位里、俊《原爆の図》と昭和の美術」から

### 〈名画の扉〉

この再制作版「原爆の

(小此木)